

日釣工 LOVE BLUE 横浜2カ所でカサゴ放流

臨港パーク潮入りと大黒海づり公園に

(一社)日本釣用品工業会は、つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE・BLUE事業で、専門機関と連携した放流事業として「釣りフェスティバル2024 in YOKOHAMA」の初日1月19日、パシフィコ横浜に隣接する臨港パーク潮入りの池および横浜市鶴見区にある大黒海づり

公園においてカサゴを放流した。

この日は「釣りフェスティバル」開場に先駆け、臨港パーク潮入りの池と大黒海づり公園にて釣人に喜んで頂くため、専門機関と連携した放流事業としてカサゴ種由5000尾の放流を実施した。

今回の放流は、(公財)神奈川県栽培漁業協会、

「にじいろ保育園みなと園児からは「とても楽しかったです!」と喜びの声が聞かれた。

また大黒海づり公園の施設職員たちから「毎年カサゴが良く釣れるようになってきました」と、とても温かく迎えて頂いた。

LOVE・BLUE専門機関と連携した放流事業として実施したもの。潮入りの池の放流ではパシフィコ横浜の近隣、「にじいろ保育園みなと園児からは「とても楽し

みらい」年長11名と保育士たちも参加してカサゴ放流を実施した。今回の放流に協力した、にじいろ保育園などみらいの園児からは「とても楽し

かったです!」と喜びの声が聞かれた。

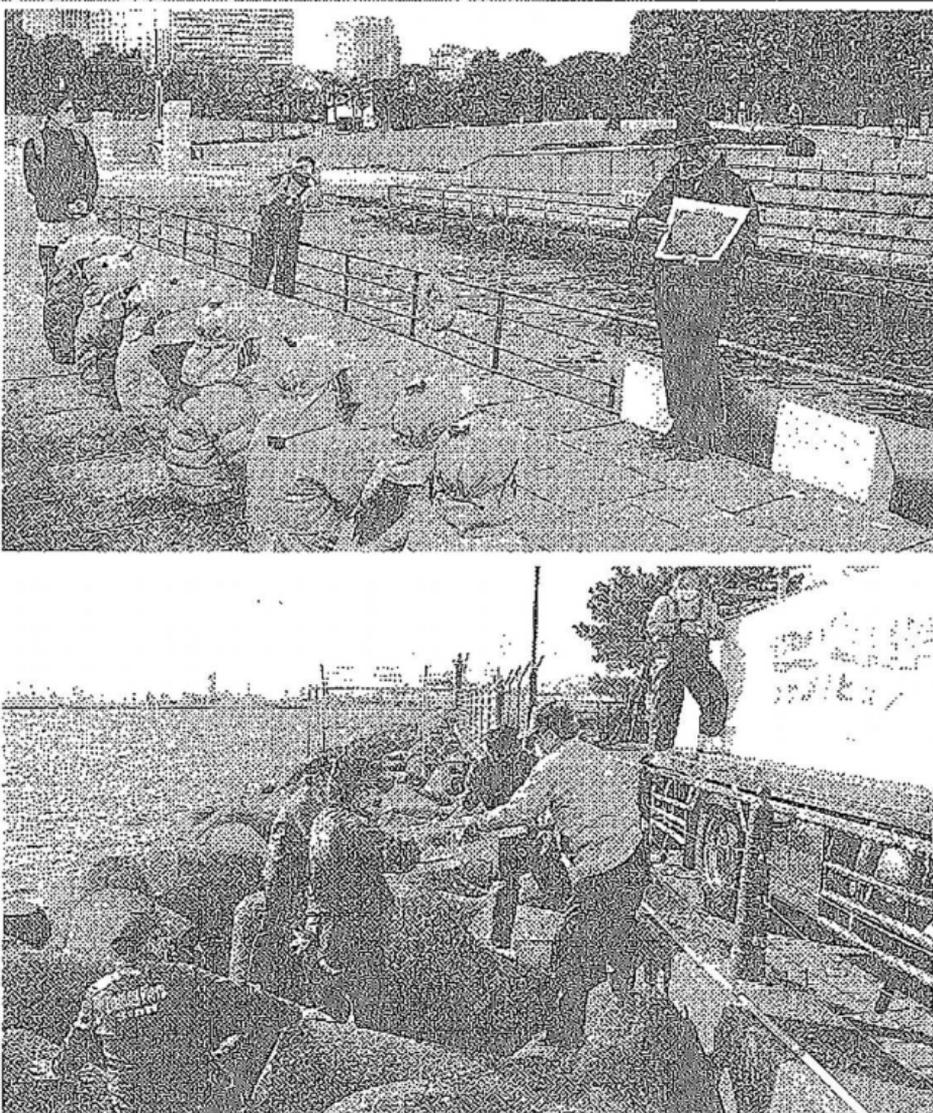
また大黒海づり公園の施設職員たちから「毎年カサゴが良く釣れるようになってきました」と、とても温かく迎えて頂いた。

また大黒海づり公園の施設職員たちから「毎年カサゴが良く釣れるようになってきました」と、とても温かく迎えて頂いた。

「にじいろ保育園みなと園児からは「とても楽し

かったです!」と喜びの声が聞かれた。

また大黒海づり公園の施設職員たちから「毎年カサゴが良く釣れるようになってきました」と、とても温かく迎えて頂いた。



カサゴ放流。臨港パークでは保育園児も参加、大黒海づり公園でも実施